

「デュピルマブ自己注射の有効性、安全性、利便性の検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2019年12月19日)～2024年3月31日

〔研究課題〕

デュピルマブ自己注射による投与の有効性、安全性、利便性の検討

〔研究目的〕

アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ自己注射前と後で、アドヒアランス(規定通り薬剤を使用する事)、有効性、安全性を比較検討します。

〔研究意義〕

2019年5月よりデュピルマブの自己注射が可能となり、2回の自己注射指導をすれば最長3か月分まで処方することができ、通院頻度が減らすことができるようになりました。自己注射により利便性が向上することは期待できますが、自己注射を行うことにより、自己注射操作に起因する新たに懸念すべき有害事象が起こる可能性が考えられます。今回のデュピルマブ自己注射の有用性、そして患者様の背景が与える影響について検討することで、自己注射の導入の際の指導方法などに役立つ可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2018年5月以降に帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診したアトピー性皮膚炎患者様で、デュピクセントを導入し、2019年5月から2020年5月までに、自己注射を導入した100例を対象とします。自己注射の導入前後での投与回数や導入時の患者背景(年齢、罹病期間など)及び採血結果をカルテから情報採取し、それらの相関を調べ、アドヒアランスに影響する予測因子を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者: 帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田 弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者様が特定されることはありません。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田 弥生

研究分担者: 後期研修医 伊藤誠時、後期研修医 内田秀昭、准教授 鎌田昌洋

所属: 帝京大学医学部皮膚科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211

(代表) [内線 32610]